



受講のご案内

第1回 医療機関トップマネジメント研修コース 参加のお勧め

社団法人 全日本病院協会

会長 佐々英達

会員各病院におかれましても既にご高承のとおり、平成18年4月の診療報酬、介護報酬のダブルマイナス改定、ならびに、介護療養型医療施設の廃止や医療療養病床における食費・居住費を一部自己負担化する健康保険法等改正など、医療機関を取り巻く環境は日々厳しさを増しております。

また、社会の医療に対する要求水準も多様化、高度化しており、我々はこれまで以上に質の向上・効率化を図り、公益性の高いサービス業として事業を継続していく必要があります。そのためには、実際の施設運営に際して医療実務（専門技術）と経営・実務（管理技術）双方のスキルを兼ね備えたトップマネジャーの存在が必要ですが、現実には、医学等の専門教育や卒業研修の中に経営学ならびにその実務習得は含まれておりません。

当協会では、医療制度改革の流れの中で多様な対応が求められる今こそ、系統的な教育と実践に基づく知識・見識に富む行動力のある経営者の育成が重要と考え、この度、医療機関の理事長・院長、あるいは将来の理事長・院長候補者を対象とした「医療機関トップマネジメント研修コース」を開催する運びとなりました。

全7回（7ヶ月間）にわたる研修では、現在の改革の時代にあって積極的な取り組みを行っている民間病院における実例をもとに、選択した主要6テーマに関連する種々のケースを使用し、より戦略的・効率的な医療経営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指します。

会員各病院の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

第1回（平成18年度）

医療機関 トップマネジメント 研修コース

- 受講対象 理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方
開講期間 平成18年7月～平成19年1月
全7単位、各単位2日間 土曜13:00～21:00 日曜9:00～15:00
受講料金 全7単位 500,000円（宿泊費・食事代含む）
受講定員 40名
会場 芝パークホテル
〒105-0011 東京都港区芝公園1-5-10
TEL.03-3443-4141
申込締切 平成18年6月30日（金）

Program

講師・講義内容は変更になる場合があります。

第1単位 平成18年 7月15日・16日

オリエンテーション、医療概論、経営概論

講師

飯田 修平 財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院 院長
伊藤 一 小樽医科大学商学部 教授
李 濟民 小樽医科大学アントレプレナーシップ専攻科 専攻長

概要

・医療概論
医療経営をするために必要な基本的考え方と知識を提示する。医療とは何か、医療の特性、医療制度(医療提供体制と医療保険制度)、医療機関の特徴、組織とは何か、とくに病院とは何か、病院の組織図、病院の業務、医療の標準化、情報化。

・経営概論

経営概論では経営とマーケティングについての基礎的概念について説明。
・経営学：自らの事業のSWOT分析や競合相手の位置づけについて、ケースを交えながら医療事業において必要な経営手法を厳選して説明。
・マーケティング：マーケティング基礎概念とともに特にCSに対する調査方法を説明。

第3単位 9月16日・17日

安全管理・リスク管理

講師

長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

概要

医療安全についての社会的関心は高く、病院経営上重要な課題となっている。本単位では以下について講義を行う。
・医療安全と質との関係
・医療安全に関する制度
・事例分析・評価・対策
・医療事故発生時の対応
・医療安全文化

演習

・医療事故発生時の対応
・医療安全文化の醸成

第2単位 8月19日・20日

医療における総合的質経営(TQM) 質重視の経営

講師

飯田 修平 財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院 院長

概要

医療への総合的質経営(TQM)の導入を検討するための、基本的考え方と知識を提示する。
理念・方針、質管理原論・質管理手法、なぜ質向上か、量から質へ、医療の質向上、質向上活動、質管理(Quality Management)の基本的考え方、情報共有と標準化、継続的改善、PDCAサイクル、方針展開等

演習

・改善の必要性
・トップの役割確認
・改善活動の組織化
・推進方法検討
・組織の活性化

第4単位 10月14日・15日

人事管理

講師

池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

概要

人事管理の普遍的課題について解説した後、職員のほとんどが有資格者である病院の特殊性を説明する。
そのうえで、人事管理システムを導入した病院のケースについて演習、講評を行う。

演習

・医療機関の各職種に対する望ましい人事制度
・人事制度の構築・導入のプロセス

第5単位 11月11日・12日

医療連携

講師

池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

概要

病院における連携について、講師が行ってきた実態調査の結果を踏まえて現状とその課題を解説後、連携が絶対条件となる地域医療支援病院をケースとして取り上げ、演習、講評を行う。

演習

・地域医療連携の推進と課題
・病院経営者のリーダーシップ

第7単位 平成19年 1月13日・14日

DPC、研修のまとめ

講師

長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

概要

診療報酬の支払い方法は医療の内容に大きな影響を与える。本単位では以下の内容について取り扱う。
・診療報酬支払い方式の概要
・包括払いが医療内容に与える影響
・医療標準化の方法(パス法、診療ガイドライン)
・コスト分析
・支払い方式に応じた医療サービスの位置づけの再検討

演習

DPCへの対応
・病院情報システムの構築
・パス法などを用いた医療の標準化
・コスト分析

第6単位 12月16日・17日

医療機関における財務・会計管理の重要性と資金調達の可能性

講師

大沼 宏 東京理科大学経営学部 助教授

概要

これまで医療機関における主要な資金調達手段といえば、銀行からの借入れが中心だった。しかし病院経営の安定化と積極的投資を促進するため、資金調達手段の多様化が進行している。この講義では、医療機関における財務・会計管理の重要性とその延長線にある資金調達手段多様化の実態について学ぶ。

演習

・資金調達ニーズの高まりに関する検証
・医療機関債という資金調達方法の特徴
・2006年医療制度改革による資金調達方法の変化

個別単位ごとの時間割(予定)

	時間	項目
土	13:00～15:00	各テーマの総論の学習
	15:00～18:00	各テーマの各論の学習
	18:00～19:00	夕食
	19:00～21:00	ケースの事前配布とグループワーク準備
日	9:00～12:00	ケース研究(グループワーク)
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	全体討論、まとめ

全7単位修了者には「修了証」を授与いたします。